

申請書を作成する際の注意事項について

全体を通しての注意事項

・申請書類は最新の様式を茨城県のホームページからダウンロードしてご活用ください。

・修正箇所が生じた場合について

修正液や修正テープはご利用をお控えください。

自署を修正する場合 : 二重線+訂正印

自署以外を修正する場合 : 二重線

取組実施者様にご準備いただく書類

①様式第1-1号(第3条関係)『令和5年度肥料価格高騰対策事業取組計画書の承認申請書』

*記入例と注意事項は2ページを参照ください。

②様式第1-1号 別添『肥料価格高騰対策事業取組計画書(取組実績報告書)』

*記入例と注意事項は3ページを参照ください。

③様式第1-2号(様式第1-1号の添付資料)『参加農業者名簿』

*記入例と注意事項は4~8ページを参照ください。

④様式第3-2号(第4条関係)『肥料価格高騰対策事業に係る振込口座』

*記入例は9ページを参照ください。

農業者様にご準備いただく書類

①様式第2号(様式第1-1号の添付資料)『化学肥料低減計画書』

*記入例と注意事項は10~11ページを参照ください。

②参考様式第1号(様式第1-1号の添付資料)『誓約・同意書』

*記入例と注意事項は12ページを参照ください。

③『注文書・請求書・領収書』

・下記の提出が必要です。

注文書

請求書または領収書

・注文書について

注文日の記載が必要です。

・注文書、請求書、領収書の宛名について

法人の場合の一例 : 株式会社〇〇〇〇 氏名

個人事業主の場合の一例 屋号あり : 〇〇〇〇商店 氏名

屋号なし : 氏名

④『口座振替依頼書』と『通帳コピー』

*記入例と注意事項は13ページを参照ください。

令和5年〇〇月〇〇日

茨城県農業再生協議会長 殿

所在地 **茨城県水戸市笠原町978-6**
取組実施者名 **(株)茨城肥料**
代表者氏名 **茨城 一郎**

令和5年度と記載されているか確認をお願いします。

令和5年度肥料価格高騰対策事業取組計画書の(変更)承認申請書

令和5年度において、肥料価格高騰対策の実施にあたり、対策事業取組計画書を作成(変更)したので、肥料価格高騰対策事業実施要領(令和3年12月20日付け3農産第2156号農林水産省農産局長通知)第9の4の(1)(第9の4の(3))に基づき、別添のとおり提出する。

(注) 様式第1-2号(参加農業者名簿)、様式第2号(化学肥料低減計画書)、所要額の算出根拠となる証拠書類、参考様式第1号(誓約・同意書)を添付すること。

肥料価格高騰対策事業取組計画書（取組実績報告書）

一枚の計画書で秋用肥料と春用肥料の両方申請が可能です。

記入例 秋用肥料のみ申請する場合 →秋用肥料分に○
 春用肥料のみ申請する場合 →春用肥料分に○
 両方を1枚で申請する場合 →両方に○

秋用肥料分	春用肥料分
	○

(注) 該当するものに○を付けること

FAX 番号がある場合は電話番号に続けて記載をお願いします。

記入例 電話番号：0000-00-0000 FAX 番号：0000-00-0000

第1 取組実施者の概要

取組実施者名	(株)茨城肥行	
代表者の役職・氏名	代表取締役 茨城 一郎	
取組実施者の住所	〒〒310-8555 水戸市笠原町978-6	
事業担当者の連絡先	所属・役職・氏名	所属・役職 氏名 ○○・○○・○○
	電話番号	電話番号 0000-00-0000
	E-mail	E-mail ○○○○○@○○○○○

第2 参加農業者の概要

様式第1-2号のとおり。

参加農業者数 (件)
○○件

両方を1枚で申請する場合の「参加農業者数」は、
 秋肥分申請漏れ△△件・春肥分□□件とそれぞれ記載してください。
 ※秋用、春用の合計件数を記載しないでください。

第3 所要額

○,○○○円 (秋用肥料分/春用肥料分/年間)

(注) 括弧内はいずれかを選択すること

第4 誓約・同意事項

取組実施者（参加農業者を含む）は、支援金申請に当たって、次の事項を誓約・同意するものとする。

以て誓約・同意する	チェック欄	○
1 本事業に係る申請書について、地方農政局長等から求められた場合に応じます。		
2 取組を実施するに際して、必要な書類等の証拠書類について、支援金の交付を受けた年度の翌年度までに、事業実施主体又は地方農政局長等から求められた場合は提		

「所要額」は、支援予定額を記載してください。

記入例 秋用肥料のみ申請する場合 (秋肥分の支援金額) 円 (秋用肥料分/春用肥料分/年間)

春用肥料のみ申請する場合 (春肥分の支援金額) 円 (秋用肥料分/春用肥料分/年間)

両方を1枚で申請する場合 (秋肥分の申請金額・春肥分の申請金額) 円 (秋用肥料分/春用肥料分/年間)

※秋用、春用の合計金額を記載しないでください。

※年間を選択しないでください (茨城県では年間を使用しません。)

パソコンで作成する場合、適宜、枠を広げたりして結構です。

<パターン1>

様式第1-2号（様式第1-1号の添付資料）

春肥のみを申請をする場合（秋肥分申請漏れはない場合）

- ・下の（注）2の算出式により支援金額を算出してください。価格上昇率は秋肥、春肥とも1.4です。
- ・計算式を入力したExcelファイルをホームページで配布しますので、ダウンロードしてご活用ください。

肥料価格高騰対策事業 参加農業者名簿

No.	参加農業者 氏名 又は 法人・組織名	支援予定額（円）				総合計	備考
		秋用肥料（令和4年6月～令和4年10月期入分）		春用肥料（令和4年11月～令和5年5月期入分）			
		当年の肥料費	支援予定額	当年の肥料費	支援予定額		
1	水戸 四郎			500,000	72,222	72,222	
2	水戸 五郎			600,000	86,666	86,666	〇〇県△△市補助金対象 (調整額確認済済)
3	水戸 六郎	秋肥分支援金がない場合 春肥肥料費のみ記載します		700,000	101,111	101,111	
4	笠原 一郎			800,000	115,555	115,555	
5	笠原 次郎			900,000	130,000	130,000	
6		パソコンでExcelファイルのダウンロードをした場合、 青文字の欄を入力すれば、赤文字が自動算出されます					
7							
8							
9							
10							
集計	—	0	0	3,500,000	505,554	505,554	

(注)

1 「肥料価格高騰対策事業取組計画書」の添付資料として使用する場合は、当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類（注文票等）と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類（領収書等）または支払い義務が生じていることを示す書類（請求書等）を提出すること。
なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。

2 支援予定額の算出方法は下記のとおりとする。
支援予定額 = { (当年の肥料費) - (当年の肥料費) ÷ (価格上昇率) ÷ 0.9 } × 0.7

ただし、当年における肥料コスト上昇に対して、国や地方自治体からの補助金等（以下「補助金等」という。）が交付され、本事業における支援金とこれらの補助金等が重複する場合には、以下の算定式により算出される調整額を、本事業における支援金の額から控除したものを支援予定金の額とする。

なお、調整額が負の数の場合は、調整額は0とする。また、支援金が交付されている旨、備考欄に記載する。

(調整額) = 補助金等の額 - { (当年の肥料費 - 当年の肥料費 ÷ 価格上昇率 ÷ 0.9) × 0.3 }

(この取組実施者の申請例)

秋肥：申請者なし
春肥：申請者5人

※秋肥分申請漏れのみ申請（春肥分申請なし）の場合は、秋用肥料の金額のみ記載し、春用肥料の金額は無記載で提出してください。

<パターン2>

様式第1-2号(様式第1-1号の添付資料)

R4年に秋肥分の申請をしている肥料店等が、秋肥分申請漏れ+春肥分申請をする場合

- ・下の(注)2の算出式により支援金額を算出してください。価格上昇率は秋肥、春肥とも1.4です。
- ・秋肥分申請漏れ者は「備考」欄に「秋肥一部申請漏れ」又は「秋肥全額申請漏れ」と記載してください

肥料価格高騰対策事業 参加農業者名簿

No.	参加農業者 氏名 又は 法人・組織名	支援予定額(円)				総合計	備考
		秋用肥料(令和4年6月~令和4年10月期入分)		春用肥料(令和4年11月~令和5年5月期入分)			
		当年の肥料費	支援予定額	当年の肥料費	支援予定額		
1	水戸 一郎	100,000	14,444			14,444	秋肥一部申請漏れ
2	水戸 二郎	150,000	21,666			21,666	”
3	水戸 三郎	500,000	72,222			72,222	秋肥全部申請漏れ
4	水戸 四郎	1,100,000	158,888	500,000	72,222	231,110	”
5	水戸 五郎			600,000	86,666	86,666	春肥)〇〇県△△市補助 金対象(調整額確認済)
6	水戸 六郎			700,000	101,111	101,111	
7	笠原 一郎			800,000	115,555	115,555	
8	笠原 次郎			900,000	130,000	130,000	
9							
10							
合計	-	1,850,000	267,220	3,500,000	505,554	772,774	

(注)

- 「肥料価格高騰対策事業取組計画書」の添付資料として使用する場合は、当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月~10月、春用肥料については令和4年11月~令和5年5月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を提出すること。
なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。
- 支援予定額の算出方法は下記のとおりとする。
支援予定額 = [(当年の肥料費) - (当年の肥料費) ÷ (価格上昇率) ÷ 0.9] × 0.7

(この取組実施者の申請例)

秋肥: R4年の秋肥分申請者のうち、秋肥分一部申請漏れが2名(水戸一郎、水戸次郎)、
秋肥分全額申請漏れが2名(水戸三郎、水戸四郎)あり、4名分を申請
春肥: 秋肥申請者との重複申請者が1人(水戸四郎)、春肥のみ申請が4人(水戸五郎、水戸六郎、
笠原一郎、笠原次郎)

<記載方法>

- ・秋肥と春肥それぞれで参加農業者が5人以上いることが申請要件のため、秋肥分申請漏れ者が5名未満の場合は、R4年の申請時の参加農業者名簿を添付してください。
- ・秋肥と春肥の両方に支援金を申請する参加農業者を1枚で申請する場合は、上記のように両方の欄に金額を記載してください。

<パターン3>

様式第1-2号 (様式第1-1号の添付資料)

R4年に秋肥分を申請しておらず、今回初めて春肥分と秋肥分申請漏れを申請をする場合

- ・下の(注)2の算出式により支援金額を算出してください。価格上昇率は秋肥、春肥とも1.4です。
- ・秋肥分申請漏れ者は「備考」欄に「秋肥一部申請漏れ」又は「秋肥全額申請漏れ」と記載してください

肥料価格高騰対策事業 参加農業者名簿

No.	参加農業者 氏名 又は 法人・組織名	支援予定額 (円)				総合計	備考
		秋用肥料 (令和4年6月~令和4年10月期入分)		春用肥料 (令和4年11月~令和5年5月期入分)			
		当年の肥料費	支援予定額	当年の肥料費	支援予定額		
1	水戸 一郎	500,000	72,222			72,222	秋肥全額申請漏れ
2	水戸 二郎	600,000	86,666			86,666	"
3	水戸 三郎	700,000	101,111	500,000	72,222	173,333	"
4	水戸 四郎	1,100,000	158,888	500,000	72,222	231,110	"
5	水戸 五郎	1,000,000	144,444	600,000	86,666	231,110	"
6	水戸 六郎			700,000	101,111	101,111	春肥)〇〇県△△市補助 金対象 (納税額確認済)
7	笠原 一郎			800,000	115,555	115,555	
8	笠原 次郎			900,000	130,000	130,000	
9							
10							
合計	-	2,800,000	404,443	4,000,000	577,776	982,219	

(注)

- 「肥料価格高騰対策事業取組計画書」の添付資料として使用する場合は、当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月~10月、春用肥料については令和4年11月~令和5年5月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を提出すること。
なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。
- 支援予定額の算出方法は下記のとおりとする。
支援予定額 = [(当年の肥料費) - (当年の肥料費) ÷ (価格上昇率) ÷ 0.9] × 0.7

(この取組実施者の申請例)

秋肥：R4年度に秋肥分の申請をせず、今回、秋肥分の全額申請漏れとして5人分を申請
(水戸一郎~水戸五郎)

春肥：秋肥申請者との重複申請者が3人(水戸三郎、水戸四郎、水戸五郎)、
春肥のみ申請が3人(水戸六郎、笠原一郎、笠原次郎)

<記載方法>

- ・参加農業者別に、秋肥分、春肥分それぞれの肥料費と支援金を記載して下さい
- ・秋肥と春肥の両方に支援金を申請する方は、上記のように両方の欄に金額を記載してください。

<パターン4>

様式第1-2号（様式第1-1号の添付資料）

参加農業者の過半が他県農業者であり、他県から「茨城県農業者の申請は不可」と言われた場合

- ・参加農業者の過半が他県、一部が茨城県農業者という場合は、過半が居住する県に「茨城県農業者も一緒に申請可能か」を早めに確認してください。茨城県農業者分は申請不可の場合、本県協議会に申請してください。
- ・下の（注）2の算出式により支援金額を算出してください。価格上昇率は秋肥、春肥とも1.4です。

肥料価格高騰対策事業 参加農業者名簿

No.	参加農業者 氏名 又は 法人・組織名	支援予定額（円）				総合計	他県申請者は 申請県名を 記載
		秋用肥料（令和4年） 当年の肥料費	他県申請者分は ゼロを記入	春用肥料（令和4年） 当年の肥料費	他県申請者分は ゼロを記入		
1	他県 一郎	800,000	0	500,000	0	0	△△県に申請
2	他県 二郎	900,000	0	1,000,000	0	0	△△県に申請
3	他県 三郎	1,000,000	0	1,000,000	0	0	△△県に申請
4	常陸 四郎	2,000,000	288,888	500,000	72,222	361,110	
5	常陸 五郎	1,000,000	144,444	1,500,000	216,666	361,110	
6							
7							
8							
9							
10							
集計	—	5,700,000	433,332	4,500,000	288,888	722,220	

(注)

- 「肥料価格高騰対策事業取組計画書」の添付資料として使用する場合は、当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類（注文票等）と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類（領収書等）または支払い義務が生じていることを示す書類（請求書等）を提出すること。
なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。
- 支援予定額の算出方法は下記のとおりとする。
支援予定額 = { (当年の肥料費) - (当年の肥料費) ÷ (価格上昇率) ÷ 0.9 } × 0.7

(この取組実施者の申請例)

△△県農業者3名、茨城県農業者2名から秋肥分申請漏れと春肥分の申請があったが、△△県協議会から「他県農業者の申請は不可」と言われたため、茨城県農業者2名分（常陸四郎、常陸五郎）は本県協議会に申請。

<記載方法>

- ・参加農業者が5人以上いることが申請要件のため、名簿は本県農業者と他県農業者の両方を記載し他県農業者の備考欄には申請した都道府県名を明記してください。
- ・他県農業者は「化学肥料低減実施計画書」の写しを添付してください。注文票等は不要です。秋肥と春肥の両方に支援金を申請する方は、上記のように両方の欄に金額を記載してください。

肥料価格高騰対策事業 参加農業者名簿

No.	参加農業者 氏名 又は 法人・組織名	支援予定額（円）				総合計	備考
		秋用肥料（令和4年6月～令和4年10月購入分）		春用肥料（令和4年11月～令和5年5月購入分）			
		当年の肥料費	支援予定額	当年の肥料費	支援予定額		
1			0		0	0	
2		<p>参加農業者の氏名又は法人・組織名の記載について</p> <p>法人の場合の記入例 株式会社〇〇〇〇 役職名 氏名</p> <p>個人事業主の場合の記入例 屋号あり 〇〇〇〇商店 氏名 屋号なし 氏名</p> <p>（参考）参加農業者入力欄は必要に応じて幅を変更いただいて問題ありません。</p>					
3							
4							
5							
6							
6							
7							
8			0		0	0	
9			0		0	0	
10			0		0	0	
11			0		0	0	
12			0		0	0	
13			0		0	0	
14			0		0	0	
15			0		0	0	
集計		0	0		0	0	

(注)

- 「肥料価格高騰対策事業取組計画書」の添付資料として使用する場合は、当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類（注文票等）と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類（領収書等）または支払い義務が生じていることを示す書類（請求書等）を提出すること。
なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。
- 支援予定額の算出方法は下記のとおりとする。

$$\text{支援予定額} = \{ (\text{当年の肥料費}) - (\text{当年の肥料費}) \div (\text{価格上昇率}) \div 0.9 \} \times 0.7$$

ただし、当年における肥料コスト上昇に対して、国や地方自治体からの補助金等（以下「補助金等」という。）が交付され、本事業における支援金とこれらの補助金等が重複する場合には、以下の算定式により算出される調整額を、本事業における支援金の額から控除したものを支援予定金の額とする。
なお、調整額が負の数の場合は、調整額は0とする。また、支援金が交付されている旨、備考欄に記載する。

$$(\text{調整額}) = \text{補助金等の額} - \{ (\text{当年の肥料費} - \text{当年の肥料費} \div \text{価格上昇率} \div 0.9) \times 0.3 \}$$
- 「肥料価格高騰対策事業取組実績報告書」の添付資料として使用する場合は、「支援予定額」を「支援額」とする。
- 適宜、行を追加すること。
- 表中に十分に記載できない場合には、別紙で提出すること。

令和5年〇月〇日

茨城県農業再生協議会長 殿

所在地 **水戸市笠原町 978-6**
 取組実施者名 **(株)茨城肥料**
 代表者氏名 **茨城 一郎**

肥料価格高騰対策事業に係る振込口座について

肥料価格高騰対策事業に係る振込口座を下記のとおり提出します。

記

支援金の振込口座

金融機関 (ゆうちょ銀行以外)													
金融機関コード (数字4桁)				金融機関名									
1	2	3	4	茨城 農業協同組合 銀行 信用金庫 信用組合 労働金庫 信連 農林中金									
支店コード (数字3桁)				支店名									
1	2	3	笠間 支店										
預金種別 (該当のものにレ印を付けてください)							口座番号 (7桁に満たない場合は、右づめで記入)						
<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座 <input type="checkbox"/> 別段 <input type="checkbox"/> 通知							1	2	3	4	5	6	7
口座名義													
カナ		イバラキ タロウ											
漢字		茨城 太郎											
ゆうちょ銀行													
記号 (6桁目がある場合は※部分に記入)						番号 (右づめで記入)							
					※								
口座名義人													
カナ													
漢字													

【取組メニューの記入例】

前年度までの取組がない方

		前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
ア	土壌診断による施肥設計		○
イ	生育診断による施肥設計		
ウ	地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ	堆肥の利用		
オ	汚泥肥料の利用（下水汚泥等）		
カ	食品残渣など国内資源の利用		
キ	有機質肥料（指定混合等を含む）の利用		○
ク	緑肥作物の利用		
ケ	肥料施用量の少ない品種の利用		
コ	低成分肥料（単肥配合を含む）の利用		
サ	可変施肥機の利用		
シ	局所施肥の利用		
ス	育苗箱（ポット苗）施肥の利用		
セ	施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～ス除く）		
ソ	地域特認技術の利用		

前年度までに1つ取組を行っており、新しく1つ取組を行う方

		前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
ア	土壌診断による施肥設計	○	○
イ	生育診断による施肥設計		
ウ	地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ	堆肥の利用		
オ	汚泥肥料の利用（下水汚泥等）		
カ	食品残渣など国内資源の利用		
キ	有機質肥料（指定混合等を含む）の利用		○
ク	緑肥作物の利用		
ケ	肥料施用量の少ない品種の利用		
コ	低成分肥料（単肥配合を含む）の利用		
サ	可変施肥機の利用		
シ	局所施肥の利用		
ス	育苗箱（ポット苗）施肥の利用		
セ	施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～ス除く）		
ソ	地域特認技術の利用		

【取組メニューの記入例】

前年度までに2つ取組を行っており、そのうち1つの取組を強化（調査点数を拡大）する方

		前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
ア	土壌診断による施肥設計	○	◎
イ	生育診断による施肥設計		
ウ	地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ	堆肥の利用		
オ	汚泥肥料の利用（下水汚泥等）		
カ	食品残渣など国内資源の利用		
キ	有機質肥料（指定混合等を含む）の利用	○	○
ク	緑肥作物の利用		
ケ	肥料施用量の少ない品種の利用		
コ	低成分肥料（単肥配合を含む）の利用		
サ	可変施肥機の利用		
シ	局所施肥の利用		
ス	育苗箱（ポット苗）施肥の利用		
セ	施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～ス除く）		
ソ	地域特認技術の利用		

調査点数を拡大

前年度までに2つ取組を行っており、そのうち1つの取組を強化（有機質肥料割合を増加）する方

		前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
ア	土壌診断による施肥設計	○	○
イ	生育診断による施肥設計		
ウ	地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ	堆肥の利用		
オ	汚泥肥料の利用（下水汚泥等）		
カ	食品残渣など国内資源の利用		
キ	有機質肥料（指定混合等を含む）の利用	○	◎
ク	緑肥作物の利用		
ケ	肥料施用量の少ない品種の利用		
コ	低成分肥料（単肥配合を含む）の利用		
サ	可変施肥機の利用		
シ	局所施肥の利用		
ス	育苗箱（ポット苗）施肥の利用		
セ	施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～ス除く）		
ソ	地域特認技術の利用		

有機質肥料の使用割合を増加

化学肥料低減計画書

秋用肥料と春用肥料の両方を申請する場合、
秋用肥料の計画書と春用肥料の計画書がそれぞれ必要です。
(1枚の計画書で秋用肥料と春用肥料の両方の申請は不可となります)
秋用肥料もしくは春用肥料のどちらかに○が必要です。

秋用肥料	春用肥料
	○

注:該当するものに○を付けること

作物名	作付面積
水稻	35
カンショ	20
その他	15
計	70

氏名(法人・組織名) **茨城太郎**
住所 **水戸市笠原町978-6**
電話番号 **090-0000-0000**

1. 「前年度までの取組」は、これまで実施してきた(してきか)取組のうち1つ以上は新たな取組、また	法人の場合の記入例 株式会社〇〇〇〇 役職名 氏名
2. 「令和4年度又は令和5年度の取組」は、令和4年度又は令和5年度までの取組のうち1つ以上は新たな取組、また	個人事業主の場合の記入例 屋号あり 〇〇〇〇商店 氏名 屋号なし 氏名

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	◎
イ 生育診断による施肥設計		○

作物名は作付面積の大きい順に記載してください。

面積は『ha』単位で統一して記載してください。 例 a→×
例 m²→×

作物名は具体的な名称を記載してください。 例 カンショ・ハクサイ→○
例 水田・野菜・果樹 →×

◎を付ける場合の注意事項
前年度までの取組と比べてより強化した場合に限り◎を付けることが可能です。
令和4年度又は令和5年度の取組に◎を付ける場合は、
前年度までの取組に○が付いていることが条件となります。

ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時)		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用(

法人の場合の記入例
株式会社〇〇〇〇 役職名 氏名
個人事業主の場合の記入例
屋号あり 〇〇〇〇商店 氏名
屋号なし 氏名

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料



私は農産物の販売実績があり、確実に購入し、自らが販売する農産物に活用します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署) **茨城太郎**

(注)この計画書を提出する際は、下の①と②を添付してください。なお、肥料の種類・数量・購入金額が明記されていることが必要です。

①秋用肥料は令和4年6月～10月、春用肥料は令和4年11月～令和5年5月に発注したことがわかる書類(注文票等)

②あなたが肥料費を支払った(領収書等)、または支払い義務があることがわかる書類(請求書等)

※予約せず購入した肥料の場合、購入時期・肥料の種類・数量・購入金額がわかる請求書または領収書を添付してください。

肥料価格高騰対策事業を申請する参加農業者の方へ

本事業を申請し、肥料費の支援を受けるにあたり、以下の事項を確認し回答に○をつけてください。

誓約・同意事項	回答	
申請する農業者の方は農産物を販売する農業者ですか	はい	いいえ
今回申請する肥料は、販売用の農産物の生産に使用しますか	はい	いいえ
「化学肥料低減計画書」に添付した注文書や請求書または領収書は、全て申請する農業者が使用するために購入したものでですか	はい	いいえ
肥料販売店が所有する個人情報を、本事業の申請書等の作成のために利用することに同意しますか	はい	いいえ
「化学肥料低減計画書」に添付した注文書や請求書または領収書は、他の店舗での申請にも重複して添付していませんか	重複添付していません	重複添付した
化学肥料低減の「取組メニュー」は、確実に行いますか	はい	いいえ
取組実施のための JA や普及指導員等の指導に従いますか	はい	いいえ
取組を実施したことを証明する書類は5年間保管し、取組実施者に求められた場合は速やかに閲覧や提出に応じますか	はい	いいえ
今回申請する肥料について、この事業以外で購入費の補助金を申請していたり、受け取ったりしていますか (例: 市町村から肥料費の価格補てんを受けた 等)	補助金を申請していません	補助金を申請した又は受け取った
上の項目と事実が異なることが判明した場合は支援金の返還となることに同意しますか	はい	いいえ
支援金の返還を行った場合、それにより損害が生じたとしても、申請者が一切の責任を負うことに同意しますか。	はい	いいえ
上記について理解しました 取組実施者様 令和5年4月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営者が自署してください ・ 法人名又は屋号を記載する場合、代表者名も併記してください 	
農業者から提出を受けた日付になります	署名 茨城 太郎	

<誓約同意事項について>

- 上から3つ目：名義が異なる場合でも、名義人が全て同一経営体ならば可とします
- 上から5つ目：同じ注文票等を2店舗以上に提出した場合、「重複添付した」という回答になりますが、支援金の二重申請となるため受理できません。注文票等の重複添付を解消して再提出するよう農業者に指示してください。

口座振替依頼書

口座振替依頼書と通帳コピーは提出不要です。(取組実施者様が保管お願いします)

		茨城 銀行	笠原 支店
振 込 口 座	預金種別	1. 普通 2. 当座 3. その他 ()	
	口座番号	No. 1234567	
	フリガナ	イバラキ タロウ	
	名義人氏名	茨城 太郎	

取組実施者から私に支払われる肥料価格高騰対策事業に係る支援金は、上記の口座に振り込んでください。

なお、以下の項目に同意いたします。(同意する場合、口に✓をご記入ください)

- 取組実施者から私に振り込まれる支援金の振込手数料は、私が負担します
- 銀行名、口座番号、名義人が確認できる通帳のページの写しを添付します

令和 **5** 年 月 日

(〒 **310-8555**)

住 所 **水戸市笠原町978-6**

電話番号 **090-0000-0000**

氏 名 **茨城 太郎**

取組実施者

取組実施者が、店名・責任者名
を記載してください

殿